

# 会議議事録

事業名	令和2年度 第1回 教育課程編成委員会
学校名	学校法人 新潟総合学院 新潟デザイン専門学校

会議名	教育課程編成委員会会議（第1回）
開催日時	令和2年3月18日（水） 17:00～18:30 （注）新型コロナウイルスの対策として短時間での開催とする
会場	ホテル イタリア軒 5階ジェノヴァ 新潟県新潟市中央区西堀通7番町1574
出席者	新保 悟（ジャムルクルー株式会社） 白井 剛暁（DESIGN DESIGN 代表） 渡辺 淳一郎（株式会社アイディ・東和） 浅野 勝利（株式会社T00） 落合 剛之（株式会社TAMBO 代表取締役） 澁谷 敏（シブヤカメラ） 加藤 一人（新潟デザイン専門学校 校長） 畑野 裕美（教務部長／デジタルデザイン科 学科長） 永井 啓司（就職相談室室長／デジタルデザイン科） 吉富 克弥（雑貨ジュエリー・デザイン科 学科長） 田中 圭（グラフィックデザイン科 学科長） 宝福 大志（キャラクターイラストデザイン科／イラストレーション科/美術・工芸デザイン科 学科長） 羽田 裕之（写真デザイン科 学科長） 加納 洋太（教務） 関塚 堅斗（事務局長） (出席者 15名)
欠席者	高田 哲雄（文教大学 教授） 齋藤 秀一（NPO 法人 アジアクラフトリンク 理事長） (欠席者 2名)
会議内容	(1) 学校長挨拶 学校長:加藤より職業実践専門課程について及び教育課程編成委員会設置についての趣旨説明・役割の重要性についてなどを話し、開会挨拶とした。 (2) 本日の出席者紹介 学校長より新規委員及び本校委員が紹介された。 企業等委員より自己紹介が行われた。 (3) 本校の現状報告 教務部長畑野より学校方針/教育目標/教育実績/運営報告等の説明がされた。 (4) コンペ前年度との比較、企業プロジェクト、進路決定について 教務部長畑野より全校の報告を行った。

(5) 本校カリキュラム・教育実績報告(コンテスト入賞・進路決定報告・産学連携報告など)について各学科から前年度実績報告と現状報告がされた。

- ① グラフィックデザイン科(田中学科長)
- ② 雑貨・ジュエリーデザイン科(吉富学科長)
- ③ 写真デザイン科(永井学科長)
- ④ イラストレーション科(宝福学科長)
- ⑤ 美術・工芸デザイン科(宝福学科長)
- ⑥ キャラクターイラストデザイン科(宝福学科長)
- ⑦ デジタルデザイン科(永井学科担当)

(6) 質疑応答・意見

① グラフィックデザイン科

田中:前年度の意見の活用について報告。得意・不得意が学生によってあるかと思うが、就職を意識して内容の習得を目指すように、検定科目について検定の目的やその成果を学生に説明し、目標設定を行うように指導をした。

② 雑貨・ジュエリーデザイン科

落合:産学連携にも力を入れていることが海外でのデザイン採用の報告で伝わってきた。学生の強みへつながるような工夫をしてほしい。

③ 写真デザイン科

渋谷:幅の広い撮影手法を全員が学んでおり、撮れないシーンがないという学生もいると聞いた。将来的に面白い人材になってくれると感じる。

④ イラストレーション科

渡辺:業界での就職活動時にはポートフォリオの充実がとても重要。作品の入れ方やまとめ方を工夫できるように指導を入れてほしい。

⑤ 美術・工芸デザイン科

浅野:コンテストや作品展への出展を積極的に行い、作品展示の仕方なども授業の一環として取り入れてみてはどうか。

宝福:前年度の意見の活用について報告。学校HPへの作品掲載や個人のSNS活用についても指導を行った。

⑥ デジタルデザイン科

永井:前年度の意見の反映状況について報告。Webコンテンツやデザインの授業を見直し、企業からの講師依頼を行い、授業を実施している。

※その他、全学科共通

- ・入学者数について少し盛り返している等
- ・研究課程へ内部進学をした学生数
- ・県内を出ていく若者が増え、県内から入学する学生が減ったので、県外から呼び込むことに力を入れたい。営業活動も県外を倍に増やしている。
- ・前年度に続き、奨学金についての学費相談件数が増えている。

(7) 次年度の委員会及び次回委員会開催日程(10月中を予定)に関して委員の都合を再確認し連絡する事になった。

## 会 議 議 事 録

事業名	令和2年度 第2回 教育課程編成委員会
学校名	学校法人 新潟総合学院 新潟デザイン専門学校

会 議 名	第2回教育課程編成委員会会議
開 催 日 時	令和2年10月16日(金) 17:00～18:00
会 場	新潟デザイン専門学校・講義室等3部屋分散及びオンライン ※は会場参加
出席者	<p>高田 哲雄(文教大学 教授)</p> <p>新保 悟(ジャムルクルー株式会社)</p> <p>渡辺 淳一郎(株式会社アイディ・東和 取締役営業部長)</p> <p>白井 剛暁(DESIGN DESIGN 代表)</p> <p>齋藤 秀一(NPO 法人 アジアクラフトリンク 理事長)</p> <p>浅野 勝利(株式会社T00)</p> <p>落合 剛之(株式会社TAMBO 代表取締役)</p> <p>澁谷 敏(シブヤカメラ)※</p> <p>加藤 一人(新潟デザイン専門学校 校長)※</p> <p>畑野 裕美(副校長/教務部長)※</p> <p>永井 啓司(就職相談室室長/雑貨ジュエリー・デザイン科 学科長)※</p> <p>田中 圭(グラフィックデザイン科 学科長)※</p> <p>宝福 大志(キャラクターイラストデザイン科/イラストレーション科/美術・工芸デザイン科 学科長)※</p> <p>羽田 裕之(写真デザイン科 学科長)※</p> <p>加納 洋太(デジタルデザイン科 学科長)※</p> <p>関塚 堅斗(事務局長)</p> <p style="text-align: right;">(出席者16名)</p>
会議内容	<p>(1) 学校長挨拶</p> <p>学校長:加藤よりコロナ禍の学校運営と方針について、グループの対応や、今年度の新体制、上期スタート時の状況報告と今年度申請学科についてなどを話し、開会挨拶とした。</p> <p>(2) 今回の会議実施にあたって</p> <p>副校長よりオンラインでの実施についての説明。</p> <p>(3) 本日の出席者紹介</p> <p>(4) 教育内容の状況説明</p> <p>副校長畑野より上期の教育目標/教育実績/運営報告等の説明がされた。</p> <p>各学科より、カリキュラム・教育実績報告(コンテスト入賞・進路決定報告・産学連携報告など)について上期実績報告と現状報告がされた。</p>

- ① 認定済みで今回更新対象学科  
グラフィックデザイン科（田中学科長）  
デジタルデザイン科（加納学科担当）  
美術・工芸デザイン科（宝福学科長）

- ② 認定済み学科  
イラストレーション科（宝福学科長）  
キャラクターイラストデザイン科（宝福学科長）  
雑貨・ジュエリーデザイン科（永井学科長）  
写真デザイン科（羽田学科長）

(5) 学校行事・イベントについて

副校長:畑野より今年度上期の全校行事・イベント・研修の中止とコロナ対策による学校運営、授業についての説明・現状について報告がされた。

(6) 質疑応答・意見

- ・カウンセリング制度についてコロナ禍において、学校生活だけではなく、他の不安も学生の中にはあると考えられるため、コロナ禍ではあるがこれまで同様にスクールカウンセリングの活用ができると良いのではないか。
- ・今年度の就職活動は、これまでと少し異なる状況と考えられる。特に県外就職は状況に合わせ学生指導や保護者連携が必要。オンラインによる面接なども実施されるようであるが、学生は対応できるか。

永井: これまでもオンライン面接を行っているので、コロナ禍ではあるが同様の対応指導が可能。臨機応変に対応したい。

※その他、全学科共通

- ・上期及び現状までの退学抑止の現状、コロナの影響について等
- ・オンライン授業の状況について。
- ・学校のコロナ対策と学生の理解や協力姿勢委ついて。保護者の理解等。
- ・産学連携の体制やコンペの現状についての現状報告。作品も見て頂いた。

今年度は中止のコンペが多々出てきているが、産学連携はオンラインを活用したテレワークの現状を経験する内容もあり、このような状況ではあるが、現場の状況をリアルタイムに知る機会ができた。前年度よりも3件ほど産学連携の依頼が増えている。下期に向けて対応を行うが、コロナ感染症の状況をしっかりと見極めるための実施が必要である。

(7) 次年度の委員会会議開催日程(3月中を予定)に関して、コロナ禍の状況や委員の都合を確認し開催についての検討も含め連絡する事になった。

以上